

一 般 質 問 議 題

令和7年西尾市議会6月定例会

令和7年4月16日分

質問順位	1	議席番号	16 番	氏名	大塚 久美子	答 弁 を 求める者
1 難病の方に寄り添う支援について						市 長
(1) 令和6年3月定例会の一般質問では、難病患者に対する支援金の支給について、支給対象、金額、手続きなどの状況を調査しながら考えていきたいとの答弁であったが、状況はどのようなか。						
(2) 難病の申請について、無料で住民票の写しを交付している市町も多いことから、本市においても手数料の免除について前向きに検討していくとの答弁であったが、状況はどのようなか。						
2 育児休業に伴う退園の解消に向けた取組について						市 長
(1) 育児休業に伴う退園について、本市の現状はどのようなか。						
(2) 育休明けの再入園の優先措置や同園への復帰の可能性について、市の方針はどのようなか。						
(3) 育休退園が与える子どもへの影響について、どのように認識しているか。						
(4) 育休退園について、保護者の考えをどのように把握しているか。						
3 外出先で安心して授乳や搾乳、またおむつ替えができる環境整備について						市 長
(1) 現在、市内の公共施設における授乳・おむつ替えスペースの整備状況はどのようなか。						
(2) 市として、民間施設と連携し、授乳・おむつ替えスペースの充実を図る取組を行っているが、現在の状況はどのようなか。						
(3) 既に授乳・おむつ替えスペースがある施設についても、利用者にとっては場所や設備内容が分かりづらい場合がある。案内表示やウェブでの情報提供など、周知の工夫についての考えはどのようなか。						

質問順位	2	議席番号	21 番	氏名	松井 晋一郎	答 弁 を 求める者
1	南海トラフ巨大地震への備えのさらなる強化を					市 長
(1)	国が先月31日に発表した最新の被害想定によると、本市では最大震度7、最大津波高7メートル、沿岸部でも3メートルから7メートルの津波が想定され、津波高1メートルの最短到達時間は43分となった。市としてこの想定をどのように受け止め、具体的な対策を講じていくのか。					
(2)	最大津波高が7メートルとなる到達場所と範囲の認識はどのようなか。					
(3)	津波高1メートルの最短到達時間が43分とあるが、最初の到達場所はどの辺りと認識しているか。また他の沿岸部への到達時間についてはどのようなか。					
(4)	既存の防潮堤の耐震性や津波対策の強化計画の進捗状況から地震対策への見解を伺う。					
(5)	浸水想定区域内の住民が安全に避難できるようにするための、避難経路の確保と標識等の設置状況はどのようなか。					
(6)	佐久島の防災計画について、避難経路や避難場所の現状と課題について伺う。また、今後の見直しや新たな対策の検討はどのようなか。					
(7)	老朽化した橋・道路・学校・病院などの公共施設や、上下水道などの耐震補強の進捗状況はどのようなか。					
(8)	一色町・吉良町・幡豆町など沿岸部では地盤の液状化、軟弱化のリスクが懸念されるが、建物被害やライフラインへの被害想定はどのようなか。					
(9)	災害時に市内での電力や水の供給がどの程度維持されるか。特に病院や避難所への優先供給についての考えや対策について伺う。					
(10)	高齢者や障がい者などの災害時要支援者への対応として、個別避難計画の策定の進捗はどのようなか。要支援者をスムーズに避難させるために、介護・福祉関連施設や自主防災会などとの協議はどのようなか。					
(11)	市役所・消防・警察署などの防災拠点の耐震性や、災害時の機能維持のための設備はどのようなか。					
(12)	愛知県や自衛隊・国との連携体制、特に物資輸送・避難所運営の役割分担の明確化について伺う。					
(13)	西尾市単独で対応が困難な場合、どのような支援を要請する仕組みとなっているか。					
(14)	民間企業等との災害協定や、災害時を想定したシミュレーションの状況はどのようなか。					

2 高齢者・就職氷河期世代・障がい者の就労支援と社会的活躍の場づくりの促進について	市 長
(1) 高齢者の就労支援と社会的活躍の場づくりについて	
ア 西尾市における65歳以上の人口及び就労者数、就業率の推移はどのようなか。また、雇用形態について状況を把握しているか。	
イ 市内企業や事業者において求められる職種など、高齢者雇用の実態はどのようなか。また、高齢者が働く上での健康問題や労働条件、賃金、職場環境の適応など、主な課題をどのように考えるか。	
ウ 本市の高齢者の就労支援に関する、職業紹介やスキルアップ支援、起業支援などの具体的な施策はどのようなか。これまでの実績、今後検討している施策についても伺う。	
エ 高年齢者活躍企業事例サイトや、他自治体事例を参考に、本市が今後取り組むべき高齢者雇用促進策への考えを伺う。	
オ 助成金やアドバイザー派遣など、企業側へ的高齢者雇用促進策の実施状況はどのようなか。	
カ 高齢社会が進む中で、高齢者が健康的に過ごせる環境を整えることが重要と考える。本市として今後どのような方針で高齢者の社会参加を支援していくのか見解を伺う。	
(2) 就職氷河期世代への就職支援と社会的活躍の場づくりの促進について	
ア 本市における現在30代後半から50代後半までの就職氷河期世代の人口、および非正規雇用者や無業者の割合は把握しているか。また、これら世代が抱える、再就職の困難さやスキル不足、雇用形態による賃金の低さなどの就労課題をどのように分析しているか。	
イ 職業訓練や資格取得支援、企業とのマッチングなど、就職氷河期世代向けの再就職支援策の実施状況と課題分析はどのようなか。また、国(厚生労働省の「就職氷河期世代活躍支援プラン」など)や県をはじめ、ハローワークとの就職氷河期世代支援についての連携状況はどのようなか。	
ウ 市内企業に対して、補助金や企業支援、意識啓発など、就職氷河期世代の正規雇用化を促進する施策の実施状況はどのようなか。また、就職氷河期世代が持つスキルや経験を生かせる新たな雇用創出策についての見解を伺う。	
エ 千葉市や北九州市、福島県白河市などの他自治体の成功事例を参考に、新たな支援策を検討する考えはあるか。また、就職氷河期世代の方々が安定した雇用を得て、社会で活躍できる環境を整えることは、市の発展にもつながると考える。今後の市の取組方針について伺う。	
(3) 障がい者への就労支援と社会的活躍の場づくりの促進	
ア 市内のA型及びB型就労継続支援事業所の数と利用者数について状況はどのようなか。また、現在、事業所の利用者が一般就労へ移行する割合の推移はどの程度か。	
イ 経営や運営に関する課題、利用者の就職に関する課題について、事業所側から意見を聞いているか。	

ウ 市内企業と就労継続支援事業所の利用者をつなぐマッチング機会の提供について、市の取組はどのようなか。						
エ A型事業所の最低賃金維持と持続可能な経営のための支援策はあるか。また、B型事業所の工賃向上のために、市として企業側との共同による販路拡大やブランディング支援、また、複数の事業所が共同で仕事を受注できる「共同受注」の仕組みを検討しないか。						
オ 事業所を卒業し、一般企業へ移行した際のサポート体制のさらなる充実や、事業所の相談窓口やノウハウ提供を行う取組を検討しないか。						
カ 事業所で作られた製品やサービスを市役所や福祉まつり以外の地域イベントで販売・PRする機会を増やす取組支援を検討しないか。						
質問順位	3	議席番号	3 番	氏名	佐々木 映美	答 弁 を 求める者
1 市民が参画しやすい西尾市政へ						市 長
(1) 市が市民の声を聴きたい時、どのような方法があるか。						
(2) 市民が自分たちの考えや想いを市政に反映してほしい時、どのような方法があるか。						
(3) 市民が市政やまちづくりに参画しやすい環境となるためには、どのようにすべきと考えるか。						
(4) 安城市では「安城市市民参加条例」を制定し、市民に対して市政に参画してもらいたいという姿勢を示している。その点について、どのように考えるか。						
(5) 本市でも、市民の声を吸い上げるため、また、市民に市政への関心を高めてもらうために、新たな取組を考えないか。						
2 市民のためのつながりの輪支え合い事業						市 長
(1) つながりの輪サポートステーション(仮称)について、人員体制の詳細はどのようなか。						
(2) 令和7年度に設置のワーキングチームは、どのようなメンバーを考えているか。						
(3) つながりの輪支え合い事業の多機関協働では、行政と民間の複数の機関の連携が重要だと考えるが、個人情報保護に関する管理や取扱いはどのようなか。						
(4) コンパスが対象にしていない、大人のひきこもりについて、どのように把握・支援をしていくのか。						
(5) オンライン相談の実施についての考えはどのようなか。						

(6) つながりの輪支え合い事業を始めることで、これまでの支援体制と何が大きく変わるのか。			市長
3 公園の考え方について			
(1) にしのま茶公園は、地元で維持管理していくことが決まっているが、期待する効果はどのようなか。			
(2) 市政世論調査の自由意見欄で「大きな公園がほしい」など、公園についての要望が寄せられているが、大きな公園の整備に対してどのように考えるか。			
(3) ハツ面山公園と古川緑地を一体的に利用する「親子で楽しめる公園」の整備計画の進捗状況はどのようなか。			答弁を求める者
質問順位 4	議席番号 25 番	氏名 鈴木 正章	
1 雨水の利用の推進に関する法律への対応について			
(1) 雨水利用推進法では「地方公共団体は、その区域の自然的社会的条件に応じて、雨水の利用の推進に関する施策を策定し、及び実施するよう努めなければならない。」としている。本市の雨水利用推進法制定後の取組はどのようなか。			
(2) 令和7年度主要事業の「(仮称)西尾市雨水対策マスタープラン策定事業」の骨格となる視点はどのようなか。			
(3) 雨水利用推進法制定後における近隣市での雨水対策事業の取組状況や雨水対策の進行管理体制はどのようなか。			市長
2 雨水排水基本計画について			
(1) 令和元年9月定例会の一般質問の答弁で「市の事業計画と県の流域下水道事業計画との整合性を図り、令和5年度の事業計画変更認可を得て、ハード対策を進める」とあったが、現状の取組状況はどのようなか。			
(2) 「雨水排水計画概算費用として、雨水管渠整備及び平坂ポンプ場を始め7ポンプ場建設など約277億円を見込んでいる」とも答弁しているが、現状での見込額はどのようなか。			
(3) 都市浸水対策達成率の近隣市との比較はどのようなか。			
(4) 下水道法の改正により、従来の公共下水道(雨水・汚水)を、雨水排水に特化した「雨水公共下水道」として整備することが可能となったが、本市の取組はどのようなか。			市長
3 雨水の処理について			
(1) 道路用地内の雨水排水処理についての規定はどのようなか。			

(2) 道路の冠水等による通行制限の基準と手順はどのようなか。			
(3) 市街化区域と市街化調整区域での雨水排水処理についての規定の違いはどのようなか。			
(4) 開発行為等による土地開発時における雨水排水処理の規定はどのようなか。			
(5) 工場や商業施設、公共施設等の一定規模以上の施設における雨水排水処理設備設置についての手順はどのようなか。			
(6) 住宅新築に伴う雨水排水処理設備の手続きはどのようなか。			
(7) 雨水下水道未整備区域の雨水流路は、敷地内に設置された雨水ますへ排出し、道路に設置された側溝を通り、排水路へ流れ河川などの公共水域に排出される。本市の排水路の管理はどこが行っているのか。			
質問順位	5	議席番号 10 番 氏名 黒辺 一彦	
1 西尾市のスポーツまちづくりについて			市 長
(1) 本市のスポーツツーリズムの成果と今後の戦略はどのようなか。			
(2) 来年開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会に期待することは何か。また、本市における準備状況はどのようなか。			
(3) 西尾市スポーツまちづくりビジョン2040のスポーツ施設の整備計画における体育館や陸上競技場等の整備の進捗はどのようなか。			
(4) 野球場整備は先の予定になっているが、他施設と同時に検討していくべきではないか。また、西尾市スポーツまちづくりビジョン2040には「企業等からの寄附や社会人野球の企業チームとの連携も含め検討する。」とあるが、どういうことか。			
2 ワクワク西尾創生コンテストについて			市 長
(1) これまでの職員提案の進捗状況と実績はどのようなか。また、事業の実施にあたっての課題はどのようなか。			
(2) ワクワク西尾創生コンテストの提案内容がワクワクするものとかけ離れていると感じるが、市はどのように捉えているか。			
(3) ワクワク西尾創生コンテストを実施することで職員のモチベーションにどのような変化があったか。提案した職員の仕事への満足度調査を行い、より効果的なものにしていかないか。			

3 ゼロメートル地帯広域防災活動拠点と周辺整備について			市 長
(1) 災害時の本拠点の活用について、県と市の連携体制はどのようなか。			
(2) 平時における利用、市民への周知はどのようなか。			
(3) 発災時、本拠点を活用するには周辺道路が寸断されないことが重要と考えるが、現在の道路の耐震強度等の状況はどのようなか。			
(4) 周辺道路の歩道設置や道路拡幅、耐震補強等の整備を行わないか。			
4 憩の農園周辺の整備について			市 長
(1) 憩の農園エリア(ファーマーズマーケット、ファーマーズガーデン、イートヴィレッジ)のリニューアル後の来場者数の推移はどのようなか。			
(2) 憩の農園を起点に、観光客の市内回遊性の向上と滞在時間延長のための取組をどのように考えているか。			
(3) 憩の農園から県道沿いに東に進むと、全国で唯一の棉祖祭が行われる天竹神社がある。「綿の木」や市の花である「ばら」を道路沿いに植樹し「コットンロード」「ローズロード」などとして散策可能な街路としてはどうか。			
(4) 細池須脇6号線の整備、開通に伴い交通量の増加が見込まれるが、どのように考えているか。また、県立にしお特別支援学校南の交差点には信号がない状態で供用開始の予定だが、信号の整備を行わないか。			
質問順位 6	議席番号 2 番	氏名 牧 一心	答 弁 を 求める者
1 公共事業における民間活用の制度設計と人材育成の在り方を問う			市 長
(1) 宮崎市では一定規模以上の公共事業については、横断的な事前協議体制が構築されている。本市でも、財政課との連携を通じて、事業の初期段階から民間活用の可能性を検討する仕組みを整備すべきではないか。			
(2) 民間活用における調査は、単に「可能性の有無を判断するもの」にとどめるのではなく、実現に向けての課題を明らかにし、それを乗り越えるための道筋を探るものとすべきである。このように調査の位置づけ自体を見直す必要があると考えるが、本市の見解を伺う。			
(3) 民間活用における調査や計画立案の段階から、可能な限り職員が自ら基本計画や要求水準書の作成に携わることで、知見の蓄積や内部のスキル向上にもつながると考える。本市として、そのような体制の構築を進める考えはあるか。			
(4) 民間活用を本格的に進めていくためには、それを担う職員の育成が不可欠だと考える。プロジェクトに実際に関わりながらスキルを高められるような、実践型の研修の場を庁内に設けることについて、本市の考えはどのようなか。			
(5) 育成した人材が経験を積み重ねていけるよう、一定期間、同分野の業務に継続して従事できるような人材配置の工夫も必要だと考えるが、本市の考えはどのようなか。			

一般質問議題

令和7年西尾市議会6月定例会

令和7年4月18日分

質問順位	7	議席番号	9 番	氏名	中根 志信	答 弁 を 求める者
1	業務量調査の経緯と結果、評価と活用について					市 長
(1)	令和6年度に新規事業として業務量調査業務を実施したが、調査の手法はどのように決定したか。また、委託業者の選定方法はどのようなか。					
(2)	業務量調査業務の具体的な進め方はどのようなか。また、対象とした部署や調査期間はどのようなか。					
(3)	今回の業務量調査によって、人員の適正配置や業務改善に取り組む基礎資料が作成できたとのことであるが、どのような基礎資料か。また、どんなことに役立つと考えているのか。					
(4)	調査の結果、正規職員が実施しているノンコア業務も多く、業務改善の余地は十分にあることが把握できたとのことであるが、具体的にはどのような業務か。					
(5)	令和7年度は、業務改善の取組として研修を実施していくとのことであるが、スケジュールはどのようなか。また、どのような研修を考えているのか。					
(6)	近年、民間企業では「業務の効率化」や「働き方改革」の取組が加速しているが、業務量調査から見えてきたことを生かし、本市が目指す方向性はどのようなか。					
2	10年先を見据えた西尾市の農業振興ビジョンの策定について					市 長
(1)	本市では農業に特化した独自の農業振興ビジョンを策定しているのか。					
(2)	愛知県はモノづくりの工業県であると同時に、農業県でもある。県下において、独自の農業振興ビジョンを策定している自治体の現況はどのようなか。					
(3)	農業振興ビジョンを策定する際には、地元の農協(JA西三河)と連携していく考えはないか。					
(4)	日本において食料自給率の低下が懸念されている中、各自治体で持続可能な農業を守る施策が必要だと考える。その指針として、この地域の自然環境や特性に合った農業振興ビジョンを策定しないか。					
(5)	本市は農業生産出荷額が県下第4位という農業都市であり、今後も農業振興は非常に重要と考えるが、将来を見据えた農業振興に対する市長の考えはどのようなか。					

(2) 令和6年10月1日付けで「入札前の参考見積りは複数者から取ること」を各部課に通知したというが、同日以降の見積書作成の状況はどのようなか。			
(3) 見積り業者が多く、物品購入案件を落札しているのは問題だと思うがどうか。			
(4) 参考見積りが複数者から取れない場合は、入札の地域範囲を拡げるのか。			
(5) 令和7年度からは電子契約を充実させ、経費削減を図るといふがどのようなか。			
3 街路や公園の緑化推進・「市民と協働の植樹計画」の推進について			市長
(1) 街路や公園の緑化は遅々として進まない。2012年当時の街路樹は高木が54路線で3,239本、低木が45路線で97,000本だったがどんどん減っている。現在の本数はどうか。街路樹植栽は脱炭素化政策にも寄与するものだが、市として、現在、どのような緑化計画を持っているのか。			
(2) 緑化推進基金も有効活用し、計画的な植樹を行っていくべきと思うがどうか。街路樹も猛暑等で枯れて歯抜け状態になっている路線もあるが、補植の計画はあるのか。			
(3) 市民にも「人生の記念となる植樹」、例えば、子どもの誕生や結婚、還暦など様々な機会に「記念植樹」として若木の寄附を呼びかけて、本市の緑化を進めないか。			
(4) 市としては植樹を進めたい場所をリスト化し、寄附を受ける場合の要件などをあらかじめ整えることによって、計画的な「市民との協働による緑化推進」となると思うがどうか。			
(5) みどり川周辺の桜並木については、令和5年から5カ年で剪定や伐採などの管理が計画されているが、進捗状況はどのようなか。			
(6) 平成22年頃から樹木医の簡易診断等が繰り返されているが、桜並木は元気を取り戻していない。伐採した老木は適切な後処理も行い、若木の植栽・下刈り等の維持管理も進めなければ「管理計画」は完遂しないと思うがどうか。			
質問順位 9	議席番号 6 番	氏名 小林 孝幸	答 弁 を 求める者
1 高機能消防指令センターと通報システムについて			市長
(1) 消防の高機能指令センターの更新が終了し、3月19日から運用を開始しているが、市内の119番通報は年間どの位あるか。またその内訳はどのようなか。			
(2) 新しく導入した映像通報システム「Live119」について、119番通報者から現場の映像伝送ができるとのことだが、導入からまだ日が浅く、使用実績は少ないと思う。近隣市で既に導入しているところがあれば、導入状況と奏功実績はどのようなか。			
(3) 聴覚や発話に障害等があり、音声による通報が困難な方が利用するNet119緊急通報システムが令和2年に導入されたが、対象者数と現在の登録者数はどのようなか。			

2 合併して14年が経過し、未だ統一(統合)できていない協議事項について	市長
(1) 合併して14年が経過したが、合併協議会の協議事項のうち、未だに統一(統合)できていない項目にはどのようなものがあるか。	教育長
(2) 本市における「学校給食の運営形態(提供方式)」についての検討状況はどのようなか。	
(3) 燃えないごみ指定袋について、一色・吉良・幡豆地区のアンケート結果はどのようなか。	
(4) 消防団の今後の統一について、本市の考えはどのようなか。	
(5) 文化協会の統合について、本市の考えはどのようなか。	
3 東幡豆町鹿川地区の児童・生徒の教育と市民サービスについて	市長
(1) 児童・生徒の区域外就学について	教育長
ア 東幡豆町鹿川地区の区域外就学はどのような考え方で、いつから始まったのか。	
イ 対象となる児童・生徒は何人いるか。	
ウ 東幡豆町鹿川地区以外に西尾市民でありながら、地理的理由で近隣市町に通っている児童・生徒はいるか。	
エ 本市と他市町とでは、教育方針や学校方針が異なると思うが、連携はできているのか。ましてや本市と蒲郡市は、西三河と東三河であり、子どもたちが困るようなことはないのか。	
(2) 市民サービスについて	
ア 東幡豆町鹿川組町内会や住民から、市民サービスについて何か要望などは届いていないか。	
イ いこまいかーの目的地は住民の声を聞いた上で、希望する目的地となっているか。	

質問順位	10	議席番号	22 番	氏名	前田 修	答 弁 を 求める者
1 吉良地区の中間処理施設建設計画について						市 長
(1) 吉良町宮迫に産業廃棄物中間処理施設の建設が計画されていると聞く。計画の内容を市は承知しているか。						
(2) 計画地で行われている現在の工事は、どのような目的の造成工事か。						
(3) 住居地近辺での計画であることで、宮迫地区の方による反対運動が起こっていることは承知しているか。						
(4) 紛争予防条例では、市の責務として、紛争の予防に努め迅速かつ適正に調整を図るとしているが、どのように考えているか。						
2 低所得者へのエアコン設置補助について						市 長
(1) 夏の酷暑が心配されているが、低所得者世帯のエアコン設置の状況がどのようなか承知しているか。また、包括支援センターなどからの情報はどうか。						
(2) 本市における、昨年の熱中症の発生状況、及び救急搬送の状況はどのようなか。						
(3) 住民税非課税世帯などへのエアコン購入費補助制度について、実施自治体の状況はどのようなか。						
(4) 住民税非課税世帯などへのエアコン購入費補助を実施しないか。						
3 名鉄西尾・蒲郡線の協議状況について						市 長
(1) 存続協議の状況はどのようなか。						
(2) みなし上下分離方式で、15年間に必要とされている維持管理費・設備投資費は、想定されるもののすべてが見込まれているのか。						
(3) 維持管理費・設備投資費は、年度ごとに要した費用を各市が負担することとなるが、適正価格かどうかを判断するための具体的手法はどのようなか。						
(4) 工事発注は名鉄が行い、市は費用を負担するだけとなっているが、市が施工できる工事については、市が発注できるように協議しないか。						

4 佐久島の緊急搬送について			市長
(1) 佐久島での過去数年の救急搬送の実績数と、それぞれの搬送手段はどのようなか。			
(2) 海上タクシーの利用ができなくなったが、夜間などにおける救急搬送は、どのような対応をすることとなったか。			
(3) 渡船を島側に停泊させておくことで、夜間の緊急時対応が可能になると考えるが、そのためには、どのような課題があるか。また、課題解決へ向けて検討しないか。			
質問順位 11	議席番号 1 番	氏名 杉浦 功記	答 弁 を 求める者
1 一色地区相乗りタクシーの懸念事項を解消するために			市長
(1) 年間利用者数の見込みはどのようなか。			
(2) 地元説明会では、電話による事前予約について、利用希望日の1週間前には取りにくく、日が近づくにつれ取りやすいとの説明があった。この事情はどのようなか。			
(3) 地元説明会では、LINEによる事前予約について、利用希望日の前日にならなければ利用可否が知らされないとの説明があった。この事情はどのようなか。			
2 収入を増やし支出を減らす行財政運営を			市長
(1) にししん文化会館茶々とホールなど公共施設の指定管理にあたり、収受代行制に代わり利用料金制が導入されるケースが増えているようだが、その理由はどのようなか。			
(2) 市有財産有効活用民間提案制度を用いて、西尾駅おいでつき下及び連絡通路下の広告枠設置事業が採用された。市が事業者へ柱及び壁面を貸し出す使用料と、事業者が広告主から受け取る広告掲載料について、詳細はそれぞれどのようなか。			
(3) にしお未来創造ビジョンには「財政負担を減らすことを念頭に、使用しなくなった土地については売却を基本姿勢とする」旨が記載されているが、売却の状況はどのようなか。			
(4) 北新田住宅の建設を取りやめ、跡地を売却することになった経緯はどのようなか。			
3 全庁的な事業の最適化に向けて			市長
(1) 令和7年3月定例会の施政方針に対する質問の中で「予算編成にあたっては、スクラップアンドビルド方式で検討している。」との答弁があった。それを受けて当初予算の審査では、新規事業に伴い、逆に廃止した既存事業の状況を全部局に確認した。各部局の答弁を総括して、市長の考えを問う。			

質問順位	12	議席番号	28 番	氏名	牧野 次郎	答 弁 を 求める者
1 浸水常襲地域の対策について						市 長
(1) 本年度実施される(仮称)雨水対策マスタープラン策定事業はどのようなものか。						
(2) 令和4年度に実施した浸水対策検討業務の結果の詳細はどのようなか。						
(3) 県による二の沢川の河川改修の進捗はどのようなか。						
(4) 現在進められている二の沢川改修が完了した後、その上流の計画はどのようなか。						
2 住宅セーフティーネット制度について						市 長
(1) 当制度についての見解はどのようなか。						
(2) 市内における制度活用者の潜在的世帯の把握はされているか。						
(3) 制度の構築が遅々として進まないがどのようなか。						
(4) 当制度導入への見通しはどのようなか。						
3 一人暮らし高齢者等への緊急通報装置貸与制度の改善を						市 長
(1) 必要な方が利用できるよう新しい緊急通報システムを調査研究し、速やかなシステム変更を進めたいとのことだったが、調査研究の状況はどのようなか。						
(2) 新システムへの移行時期はどのようなか。						
(3) システム変更と同時に、緊急通報システムを申請しづらくしている、緊急連絡先の登録の見直しもする考えはあるか。						
4 新年度からなくなってしまう病児保育について						市 長
(1) 新たな病児保育の運営を医療機関などに働きかけてきたが、実施のめどがつかないとのことであった。その理由はどのようなか。						

(2) 運営を求める事業者への支援の拡充策はどのようなか。	
(3) 運営できる事業者が見つかるまでの、代替策を考えないか。	
5 公共施設等のトイレへの生理用品設置について	市 長 教 育 長
(1) 「生理の貧困」が広く知られるようになって相当期間が経過したが、公共施設や学校のトイレへの生理用品の設置状況はどのようなか。	
(2) 今後の生理用品設置に対する進め方はどのようなか。	